

鍼灸で 健やかに!

4

登美ヶ丘治療院院長

野口 創



るにつれて自然に緩解されてくるが、思春期喘息に移行するケースも増加しています。

西洋医学では、気管支喘息発作時には、気管支拡張薬、吸入、注射、経口薬等を使い分けます。

緩解期は、抗炎症薬の吸入や内服で、喘息の長期的なコントロールをします。喘息はさまざまな原因が複雑にからみ合って起こるために、治療も決め手となるものがあります。

喘息発作のことを中国医学では「哮喘(こうぜん)」、「哮喘困難、呼吸促進のことを「喘(ぜん)」、「喘」といい、必ず「喘」には「喘」を伴うため「哮喘(こうぜん)」、「と呼びれています。

中国では、一九五〇年代ごろか

喘息

喘息(ぜんそく)とは、空気の通り道である気管支の病気で、

もっとも多いのが、気道(気管支)が炎症により細くなり、呼吸が妨げられて起こるタイプ、次に気管支粘膜の浮腫(ふしゅ)むくみ)や痰(たん)の増加などで起こるタイプです。

▼喘息の原因
▽アレルギー体質型
レルギー体質を持ちあわせている。

▽気道過敏性型
気管支などの気道が刺激に対して非常に敏感なため、たばこの煙やハウスダスト、動物の毛などを吸い込んだりするだけで、気管支が刺激され、収縮して喘息発作を

損傷気管の修復促進

起こす。

▽環境要因型

環境要因として
は、気温、湿度、
空気の乾燥、気圧
の変動、季節の変
わり目、風邪の感
染、大気汚染、過
労、精神的ストレ
スなどがある。

小児喘息の場合

は、喘息になる以

前に乳児湿疹、ア
トピー性皮膚炎を
思っている場合が
多いです。成長す

ら気管支喘息の治療法の一つとして鍼灸(しんきゅう)治療は、高い成果を上げています。近年の研究結果では、鍼灸治療は気管の損傷部分の修復を促進させ、柱状上皮細胞の病理的損傷を軽減し、喘息症状を改善することが証明されました。日本では、筑波技術短期大学の西條学長らの研究報告で、鍼灸治療で自律神経を調整し、気管支喘息の症状を改善したとあります。

急性の喘息は、まず現代医学的処置を行い、緩解期および慢性気管支喘息の治療に対しては、鍼灸治療が大変有効です。



~環境~

カゼの後に
咳が長引く

息が
苦しい

これって
ぜんそく?

ぜい
めい
喘
鳴

